

介護施設における 介護ロボット・支援機器の利用と課題 ～誰のため？ 何のため？～



人手不足が続く介護現場の業務負担の軽減を図ろうと、介護ロボット普及を進める補助金制度を国が開始したのは 2015 年度のこと。以来、開発・改良が日進月歩で進み、介護施設の中には介護ロボット※1 や支援機器※2 をうまく活用して、利用者の身体機能の向上や個別ケアの推進に成果を上げているところもあります。

とはいえ、利用者や家族、そして市民の関心は高いとは言えません。「機械に介護してもらうなんて」「ずっとセンサーで監視されるのは…」
「本人の意向は尊重されるの？」といった声も少なくありません。

今回のセミナーでは、「介護ロボットの普及の現状」「機器活用でできること」「利用者サイドとして知っておきたいこと」などについて何うとともに、いくつかの介護ロボットも実際にご覧いただきます。

介護ロボットや支援機器について利用者・家族も一定の知識を持っておくことは、これからの施設選びや機器との向き合い方にもつながっていくはず。見て、知って、役に立つ、セミナーです!!

※1 情報を感知（センサー系）、判断（知能・制御系）、動作（駆動系）の 3 つの要素技術を持つ知能化した機械システムで、利用者の自立支援や介護者負担の軽減に役立つ機器。

※2 日常生活の便宜を図ったりするための機器だが、上記のような知能化した機械システムは搭載していないもの。床走行式リフトなど。

と き 3月16日（土）午後2時～3時45分

と ころ PLP 会館 4階 小B会議室【裏面地図参照】

講 師 時本ゆかり 大阪人間科学大学人間科学部社会福祉学科教授

専門は高齢者福祉、介護福祉。厚生労働省「介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業」ニーズ・シーズマッキング支援事業マッキングサポーターを 2021 年より務める。論文に「授業前後の比較に見る ICT/介護ロボット授業の効果と授業デザイン」など

定 員 60名（申込先着順）

対 象 施設入居の利用者・家族、市民、施設関係者など

参 加 費 一般 1000 円、会員 500 円

主催・申込 介護保険市民オンブズマン機構大阪（O-ネット）

TEL06-6949-8192 FAX06-6949-9296

〒530-0041 大阪市北区天神橋3-9-27 PLP 会館 3F



申込フォームはこちらから

後 援 一般財団法人大阪労働者福祉財団

第 66 回 O-ネットセミナー参加申込書

氏名		(団体・施設名)	
住所	〒		
TEL/FAX	TEL	FAX	

介護保険市民オンブズマン機構大阪(通称オーネット)とは

オーネットは2000年にできたNPO法人です。特養・有料老人ホーム・グループホームなどの介護施設をオンブズマンが2人で訪問(訪問時間は2時間程度)し、介護の現場を実際に見て、利用者の苦情・要望、第三者の立場から観察して気づいたことを、施設に伝えて気づきを促す活動を続けてきました。

在宅サービスと違って、施設サービスの場合、いったん入居してしまうと、「合わないから」と言って簡単に転居することはできません。そうした中であっても、「自分らしさ」を失わないで暮らすには、第三者によるサポートが必要なのではないか…。施設介護の質の向上のために、「介護保険の隙間を埋める事業」を市民が担おう。それがひいては、将来、自分たちが「入りたいと思える施設」を増やすことにもつながる——。そう考えて活動を展開してきました。

コロナ禍の間もオンラインを活用して活動を続け、感染法上の類型が5類に移行した現在は、30か所以上の施設で訪問活動を再開しています。

20年以上にわたる継続的な活動が評価され、これまでに大阪弁護士会人権賞、日本認知症ケア学会・読売認知症ケア賞「実践ケア賞」、樋口恵子賞など、数多くの賞を受賞しています。



- ◆大阪メトロ堺筋線 扇町駅4番出口より徒歩3分
- ◆大阪メトロ谷町線 南森町駅3番出口より徒歩7分
(JR東西線 大阪天満宮駅)
- ◆JR環状線 天満駅改札口より南へ徒歩5分
※駐車場はございません
- ◆住所:大阪市北区天神橋 3-9-27